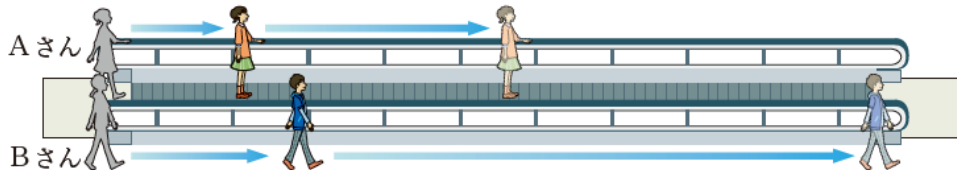


<テーマ> ICT機器を活用した取組（大河原町立大河原中学校）

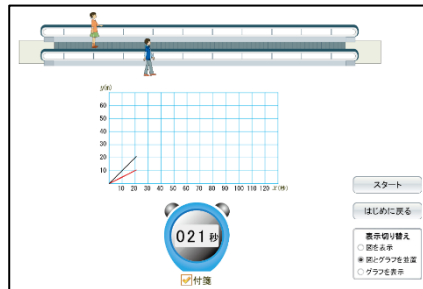
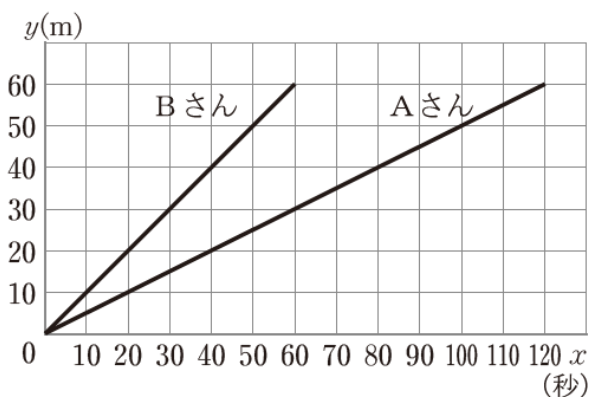
【学習課題を把握させる】

図の動く歩道は、長さが60mで、毎秒0.5mの速さで動いています。Aさんが動く歩道に乗ると同時に、Bさんが、その横を毎秒1mの速さで歩き始めました。Bさんは、Aさんより何秒前に歩道の終点に着くでしょうか。



【グラフを用いて考えさせる】

- ICT機器を活用して、2つの変数がともなって変わる様子を視覚的に示すことで関数を実感させるようにした。
- iPad, 液晶プロジェクタに加え、大型のテレビをモニターとして使い、生徒のつまずきに合わせて活用した。
- 動画は、東京書籍のDマークコンテンツを使用することで、教科書と同じ内容を動画として見て、考えることができるようにした。



《成果と課題》

- 教科書と同じ内容を動画で見せることで、生徒の学習課題の把握に役立てることができた。
- 移動の様子をグラフに表すことへの理解を深めさせることができた。
- 動画は、生徒の学習課題の把握に有効ではあるが、「身近なこと」「現実的なこと」を数学的に思考するための補助的なツールであると考え、やはり、生徒にとって現実感があり、「といてみたい」「考えてみたい」学習課題を検討することが重要である。